

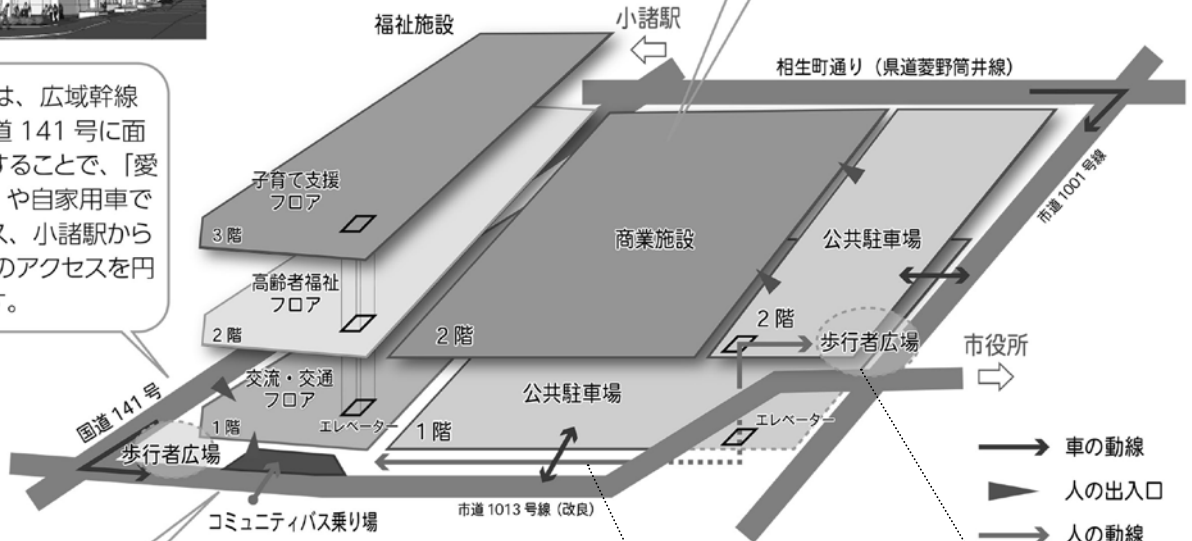


福祉施設正面イメージ

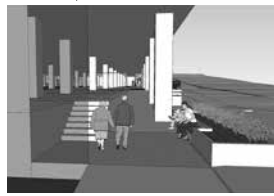
平面イメージ

商業施設は、市庁舎敷地に近接して配置することで、市庁舎一帯との回遊性を高め、多くの皆さんの利便性を高めるとともに、相生町商店街にも近いことから、賑わいを商店街へ展開することを促進します。

福祉施設は、広域幹線である国道141号に面して配置することで、「愛のりくん」や自家用車でのアクセス、小諸駅からの歩行者のアクセスを円滑にします。



コミュニティバスターミナルは、福祉施設と直結することにより、高齢者をはじめ、様々な皆さんにとって利便性を高め、外出機会の創出を促します。



歩行者通路
バリアフリーに対応したアーケード型の歩行者通路を設けます。



歩行者広場
施設入口には歩行者広場を設け、安全で円滑な通行を確保します。

▶アンケートで出た意見に対する回答

※紙面の都合上、一部のみの紹介となります。

意見・要望	市の回答
福祉センター内に天然温泉施設の整備はできないか。また有料化も検討してはどうか。	「高齢者福祉センター」には、浴場を設ける予定ですが、費用等の関係もあり、温泉とすることは想定していません。なお、浴場の利用については、利用者負担を検討します。
レイアウトについて福祉施設と商業施設の構造が分けられるレイアウトとなっていますが、利便性の観点から建物内部で2階高齢者福祉フロアと商業施設を直接往来できる連絡通路の配置はできないか。	福祉施設と商業施設との連絡については、商業施設入口にレジカウンターが配置されることや敷地の大きさなどから、施設内には通路は設けず、駐車場に隣接したアーケード型の歩行者通路の配置を計画します。
市道1001号線、相生町通りへの一方通行を解消する努力をぜひしてほしい。小諸市の中心拠点で将来の生命線であるので、何としても達成する事を願う。	相生町二丁目交差点から赤坂へ通じる市道1001号線については、市庁舎地下にある市営第1立体駐車場および隣接する市営第2立体駐車場に通じる重要な道路ですが、一部区間が一方通行であることは、今回の複合施設の整備に限らず、危機管理上からも大きな課題です。一方通行の解除を含めた、道路整備の方向性については、関係機関である県公安委員会、地権者とも協議を行い、検討を進めていきます。
商業施設、福祉施設の来場人数、ピーク時の人数はどう予測しているか。予測している来場人数と駐車場はマッチングできているのか。	来場人数については、商業施設において年間約70万人を、福祉施設において年間約3万人の利用を見込むものです。駐車場の利用台数としては、ピーク時に商業施設で約100台～120台、福祉施設として約40台を見込んでいます。駐車場の整備台数としては、公共駐車場約130台と商業テナント事業者が確保を予定している約30台で合計150台以上となりますので、駐車場利用のピークにも対応できるものとなっています。

※パブリックコメントの結果については、市ホームページでご覧になれます。